

## 令和3年度 尚徳中学校 学校評価（保護者対象）アンケート結果

日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、12月に学校評価保護者アンケートをお願いしたところ、前年度に比べ、多くの回答（回収率88%）をいただきました。お忙しいところアンケートにご協力いただき感謝申し上げます。

本年度につきましては、これまで重点化して取り組んできた授業改善や仲間づくりの取組に加え、昨年度に引き続き、感染症対策を進め、生徒の安心安全な環境づくりに留意した取組を進めました。日々の学校生活では、三密防止等の衛生管理やリモートによる行事等を行い、生徒が安心して、楽しく学校生活が送れるよう、職員で取組を進めてきました。2月

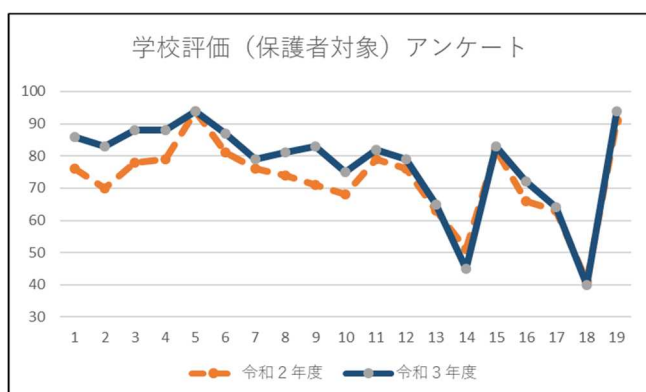


【縦割り活動をいかした尚魂祭】

には分散登校の実施もありましたが、年間を通じて、学校の取組を支えていただき、本当にありがとうございました。

さて、ご協力いただいた保護者アンケートの結果ですが、全職員で真摯に振り返りを行い、今後の学校づくりに生かしたいと考えています。

結果の概要については、以下のグラフの通りで、改善が進んでいるところや現状の課題が明らかになりました。今後もご家庭と一層の連携を図りながら、課題解決に向けた取組を進めていきたいと思っております。引き続きご支援の程よろしく申し上げます。



### 【設問別の結果概要】

点線が令和2年度（昨年度）、実線が令和3年度（本年度）の結果です。グラフは、アンケートの肯定的結果（好ましい結果）の割合を示しています。

○令和3年度については、設問14（家庭学習）、設問18（ボランティア）が昨年を下回る結果となりました。他の設問については、前年度を上回る結果となりました。

### 1 学校評価アンケートの考察

※回答は、①「そう思う」②「ほぼそう思う」③「ややそう思う」④「そう思わない」の4つの選択肢があり、①及び②を「肯定的回答」としました。

※前年度比については、昨年度の結果との比較です。

## 2 項目ごとの考察

### <学校からの情報提供>

- 設問1 「家庭への情報提供（ホームページや文書など）を通じて、尚徳中の様子がよく  
つたわる」  
（肯定的回答86%）前年度比+10
- 設問2 「学校公開や行事、参観日など尚徳中の様子を知る機会は適切である」  
（肯定的回答83%）前年度比+13
- 設問17 「自分の子どもは、学校からの文書を渡している」  
（肯定的回答64%）前年度比+1

「学校からの情報提供・公開」については、肯定的な回答が86%となり、昨年度に比べ改善しました。「学校公開の設定」については、昨年度の反省を踏まえ、新たに分散型の参観日を2学期に設定しました。ご参観いただいた保護者の方からは「落ち着いた雰囲気です。授業をしており、生徒たちの学ぶ姿勢がわかってよかった」「グループディスカッションもスムーズに行っていて感心しました」といったお声をいただきました。「開かれた学校づくり」は学校にとって重要な使命であり、今後もコロナ禍が続くことも想定されますが、よりよい公開の在り方を引き続き検討したいと考えます。

### <職員の対応>

- 設問3 「家庭訪問や電話連絡などが適切に行われ、状況に応じた対応がなされている」  
（肯定的回答88%）前年度比+10
- 設問4 「尚徳中の教職員は、保護者が相談しやすい雰囲気がある」  
（肯定的回答88%）前年度比+9
- 設問5 「尚徳中の教職員のあいさつやマナー、電話対応はよい」  
（肯定的回答94%）前年度比 0

接遇については校内でも共通理解を図り、生徒や保護者の皆様の思いに寄り添えるよう全職員で共通理解して取り組んでいるところです。引き続きお子様の確かな学びや健やかな成長につながるよう、保護者の皆様が気軽に相談できるような環境づくりに努めてまいります。

### <自ら学ぶ知識を求める生徒>

- 設問7 「尚徳中では、授業づくりや学力向上の取組を積極的に進めている」  
（肯定的回答79%）前年度比+3
- 設問8 「尚徳中は、落ち着いて学習に取り組める雰囲気がある」  
（肯定的回答81%）前年度比+7
- 設問14 「自分の子どもは、家庭学習を平日1時間30分以上取り組んでいる  
（学習塾を含む）」  
（肯定的回答45%）前年度比-6

授業づくりの重点としては、「生徒の困り感に寄り添うためには、どのような支援が必要か」といった特別支援教育の充実や新しい学習指導要領に沿った「何ができるようになるか」に留



【2年生の授業の様子】

意して取組を進めました。とりわけICT機器の活用については、生徒の主体性を引き出すとともに、効果的なツールになると考え、研修を重ねました。本校の授業づくりについては、教職員向けの参考資料として、広く他校の先生にも紹介されたところです。

生徒の授業中の様子ですが、ご来校いただいた方から「落ち着いています」とお話しただくことも多く、生徒は学習に集中して取り組めるようになっていきます。この良き伝統を受け継ぎ、引き続き学力向上に取り組んでいきたいと考えます。

最後に「家庭学習の時間」ですが、昨年度に比べ、6ポイント減少する結果となりました。「平日1時間30分以上取り組んでいる」については、令和2年度は改善が実現しましたが、令和3年度はポイントが減少する結果となりました。これを受け学校では、授業改善の取組に加え、3学期に短時間の補充学習の取組を進めています。よりよい学習習慣づくりにつきましても、ご家庭との連携が効果的であり、引き続き携帯電話やゲーム、SNS等の使用も含め、子供たちへお声かけいただきますよう、よろしく申し上げます。

#### <自分を大切にし、他人を思いやり友情を育みあう生徒>

- 設問6 「尚徳中の教職員は、子ども一人ひとりを大切にしている」  
(肯定的回答87%) 前年度比+6
- 設問9 「道徳や人権学習など、心を育てる取組を積極的に進めている」  
(肯定的回答83%) 前年度比+12
- 設問10 「尚徳中の教職員は子ども同士の人間関係の問題を適切に把握し、対応している」  
(肯定的回答75%) 前年度比+7

<自分を大切にし、他人を思いやり友情を育みあう生徒>の育成に関する項目については、すべて昨年度を上回る結果となりました。「一人一人を大切にする姿勢」は引き続き、日々の生徒の学びや学校生活の状況把握に努め、一人一人に寄り添い、生徒理解を土台とした指導や支援を行う中で、確かな学力と豊かな心と健やかな体を育てたいと考えています。

#### <心身を鍛え勇気をもって行動できる生徒>

- 設問11 「尚徳中の部活動は、子どもの成長に有意義なものとなっている」  
(肯定的回答82%) 前年度比+3
- 設問12 「自分の子どもには、「早寝、早起き、朝ご飯等」基本的な生活習慣が身につくよう心がけて生活させている」  
(肯定的回答79%) 前年度比+3

「部活動」については、昨年度に比べ高い肯定的な回答をいただきました。部活動では、子供たちの技能面の向上や結果のみならず、あいさつや礼儀など心身の健全な成長の視点も重視した活動を行いたいと考えているところです。

「基本的な生活習慣」については、昨年度とほぼ同じ回答となりました。本校の課題として家庭学習の習慣化、メディア等と接する時間があげられます。子どもたちの健全育成のため、ご家庭でのルールづくりやメディアコントロールの取組についても基本的な生活習慣定着の機会ととらえご協力をよろしく申し上げます。



【野球部・西部地区秋季総体ブロック第1位】

＜地域に貢献できる生徒＞

○設問 15 「自分の子どもは家庭や地域であいさつをきちんとしている」

（肯定的回答 83%）前年度比 +1

○設問 18 「自分の子どもは、地域の行事やボランティア活動に参加している」

（肯定的回答 40%）前年度比 -1

＜地域に貢献できる生徒＞の育成については、昨年度とほぼ同じ回答となりました。挨拶については、近隣の方からお褒めの言葉をいただくこともあり、挨拶の意義については、生徒も理解していると感じています。

本年度については、総合な学習の時間において、地域の方や企業で働く方と交流しながら、ふるさどについて学ぶ場を設定しました。この企業訪問や地域に出かける活動は、生徒にとって地域貢献を学ぶ場になるとともに、社会性や自己有用感を高める場として、引き続き工夫して取組を進めたいと考えます。



【3年生企業訪問】

○設問 19 「自分の子どもは、楽しい学校生活を送っている」

（肯定的回答 94%）前年度比 +3

「自分の子供は、楽しい学校生活を送っている」については、昨年度に比べ、数値がさらに向上しました。ここ数年、前年度から伸びを見せる傾向が続いています。この背景には、仲間づくりや縦割りを生かした行事づくりの意義を一人一人の生徒が理解し、日々の活動に主体的に取り組んだ点があるのではないかと考えます。今後もそれぞれの生徒が活動に対し「めあてや目標」をもって活動し、達成感や充実感を感じてくれることを願い、個別の支援を一層充実させたいと感じたところです。



【3年生修学旅行】

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。引き続き現状の課題を捉え直し、今後さらに前進できるよう学校としましても尽力してまいります。

次年度につきましては、米子市の指定を受け、コミュニティスクール（学校運営協議会）の取組が本格的に始まります。この取組を通じ、保護者の皆様や地域の皆様に学校の取組をこれまで以上に理解していただけるよう、地域とともにある学校づくりを目指してまいります。

そのためにも情報公開のあり方や現代社会で求められる子供たちに必要な力について職員で研鑽を深めながら取組を進めてまいります。引き続き学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。